

学校だより 芝っ子

令和8年1月26日
松本市立芝沢小学校



『あいさつでもっとたくさんの心をつなげよう』

～3学期始業式校長講話より 抜粋～

3学期の始業式、そして新年のスタートにあたり、私も3学期の目標をたてました。それは「あいさつで、もっとたくさんの心をつなげる」ということです。2学期にも話しましたが、挨拶という漢字には、「挨」は相手の心を開く、「拶」は相手の心に近づく、という意味があります。なので、あいさつでもっとみなさんの心をつなげていきたいと思っています。

声を出してあいさつすることだけがあいさつではありません。声を出すのが苦手な人は、手をふるだけでもいいです。周りの人に手をふってみましょう。自然と笑顔になりませんか？または、ちょっと頭を下げる会釈というのもあいさつです。みなさんも自分でできる挨拶をして心をつなげていきましょう。

今年は2026年、令和8年となりました。干支は何か知っていますか？今日は午年にちなんである一頭の馬のお話をします。

「ハルウララ」というメスの馬です。この馬は競走馬といって、レースに出て勝つ（1位になる）ために育てられた馬です。1998年、四国高知競馬場でデビューしました。ハルウララの特徴は、足が遅くて、勝てない。何度走っても勝てない。泥だらけになっても勝てない。やがて勝てない馬は人気もなくなり、引退していきます。しかし、ハルウララは、勝てないけれど、たくさんの人が応援してくれるようになってきたのです。ハルウララの勝てなくても一生懸命に走る姿から、たくさんの人が元気をもらったのです。成績は113戦して0勝。とうとう一度も勝つことなく、2004年に引退しました。その後、穏やかに余生を過ごし、引退から21年たった2025年9月、天国へ旅立ちました。

ハルウララはどんなことを思って走っていたのでしょうか。1位とか、最下位とか、そんなことを騒いでいるのは人間だけで、ハルウララは1レースを「精一杯走る」ただそれだけだったのではないかと私は思います。

みなさんも、一日一日を精一杯生きて、「今日も頑張った」といえる一日にしていきましょう。3学期は短いです。一日一日を大切に過ごしてほしいです。

4人の代表者が3学期の目標を話してくれました。「あいさつ」を大切にしている目標が多かったです。



スキー教室に行ってきました!(3,4年)

1月16日(金)は3,4年生のスキー教室でした。1月とは思えないくらいの穏やかな天候の中、とても楽しくスキーに親しむことが出来ました。また、昼食のカレーもおいしかったようです。

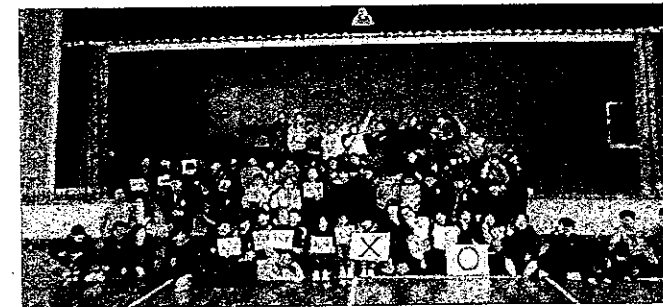
「スーっと滑って気持ちよかった」「ハの字で曲がれてうれしかった」等の感想が聞かれました。外はまだまだ寒さが続きそうですが、雪遊びや冬のスポーツなどで、寒さを乗り越えて楽しんでほしいと思います。



全校で「笑みフル集会」!

1月21日(水)は、感染症の関係で延期されていた全校集会「笑みフル集会」が行われました。6年生の委員会が主体になり、今までに行ってきた委員会の活動を〇×クイズ形式でふり返りました。久しぶりの全校集会で、他学年の子どもたちが手をつないで笑顔で答えている姿や、全校のみなさんを盛り上げようと、セリフや言い方を工夫していた6年生の役員のみなさんの姿がとてもよかったです。

これで、6年生の役員としての大きな活動はなくなります。これからは来年度に向けて、5年生への引継ぎを行っていきます。この1年、全校に笑顔を届けようと頑張ってきた6年生に感謝です。



新児童会発足に向けて

いよいよ、児童会も5年生に引き継ぐ時期になっています。今月28日の児童会長選挙に向けて、候補者と応援の友だちが、毎朝、廊下に立って選挙運動をしています。他の学年も自分たちの学校の新リーダーを決めるために、全校で気持ちを一つに取り組んでいます。子どもたちの主体的な姿、大事に見守っていきます。



来入児のみなさん待っています!

1月15日(木)、来入児一日入学がありました。5年生児童が、4月から一年生として迎える来入児の皆さんと交流しました。ペアで絵本の読み聞かせをしたり、入学式の会場となる体育館に案内したり。5年生の、手を引いて歩く姿や目線を合わせて話しかける姿が、優しいお兄さん、お姉さんに見えて感心しました。子どもたちの確かな成長を感じ嬉しく思いました。

来入児のみなさんの笑顔もとっても素敵でした。4月が楽しみです。



2月の予定
(変更する場合があります)